広報しぶかわ

SHIBUKAWA PUBLIC RELATIONS

特集：中心市街地の活性化を考える …… 2
ごみの出し方のルール …… 6
心の健康づくり講演会 …… 6
市水道ビジョンへの意見募集 …… 7

No.71　目指す将来像／やすらぎとふれあいに満ちた“ほっと”なまち　2009.2.1

特集

中心市街地の活性化を考える

：本市の中心市街地の区域とその状況

特集の第1部（平成20年10月15日号掲載）では、「まちの顔である中心市街地の現状と課題」をテーマに、中心市街地の人口や商業活力について紹介しました。今回は、これらの現状を把握して設定した中心市街地の区域や、その中心市街地を取り巻く状況について紹介します。

中心市街地の定義と本市の状況

中心市街地については、平成10年6月に国が定めた「中心市街地の活性化に関する法律」の第2条に、集積・趨勢（すうせい）・広域効果の3つの要件を満たす地区を中心市街地とすることが定義づけられています。

これは、中心市街地が経済や社会の発展に重要な役割を果たす地域の核であることから、他の地区と比べて小売商業者や都市機能が集積しており、現在、空洞化などの課題をかかえているものの、そこが活性化することで周辺地区に広く影響を与える地区であるという概念に基づ

中心市街地が満たす3つの要件の内容

- **集積要件**　その場所に相当数の小売業者や都市機能が集まっていて、それらが市の中心としての役割を果たしている市街地であること
- **趨勢要件**　土地利用や商業活動の状況からみて、機能的な都市活動の確保や経済活力の維持に支障を生じている（生じるおそれがある）と認められる市街地であること
- **広域効果要件**　市街地の整備改善、商業の活性化を一体的に進めることが市や周辺地域の発展に有効、適切であると認められる市街地であること

（別表）　**中心市街地の３つの要件を市の地区別の現状にあてはめた結果**

要件	項目		渋川地区 旧渋川町	渋川地区 その他	他の該当地区	本市の現状
集積要件	人口	人口・世帯	○			人口は約13%、世帯は約16%が旧渋川町に集積
		人口集中地区	○			旧渋川町のみに設定がある
		児童・生徒	○			小学生の約22%、中学生の約30%が旧渋川町に集積
		昼間人口	○			全市の約16%、定住人口の1.5倍が旧渋川町に集積
	産業	小売業	○	○	伊香保	商店数は旧渋川町に、年間販売額・売場面積は行幸田、有馬、金井、子持に集積
		飲食店	○			飲食店数の約56%、飲食店従業員数の約44%が旧渋川町に集積
		商店街	○	○	伊香保	商業集積地区は旧渋川町、石原、行幸田、有馬、伊香保地区に存在
		事業所・企業	○			事業所の約31%が旧渋川町に集積
	都市機能	公共施設	○			市・県・国の機関、幼稚園、学校などの約20%が旧渋川町に集積
		公益施設	○			医療施設の約53%、金融機関の約40%が旧渋川町に集積
趨勢要件	人口	人口	○		伊香保	人口・世帯とも旧渋川町、伊香保地区で最も減少
		高齢化	○		伊香保・小野上	小野上地区、旧渋川町、伊香保地区で高齢化が進行
		児童・生徒	○		赤　城	旧渋川町、赤城地区で児童・生徒数の減少が進行
		昼間人口	○			全市ともに減少しているが、特に旧渋川町が全市の減少スピードを上回っている
	産業	小売業	○			旧渋川町の商店数、年間販売額、売り場面積はともに減少。他地区ではすべて増加
		飲食店	○			渋川地区に対する旧渋川町の割合は約73%から66%に減少
		商店街	○			商業集積地区は旧渋川町で商店数、年間販売額、売り場面積、生鮮品を取り扱う店舗数すべてにおいて減少
		事業所・企業	○	○	伊香保	事業所数、従業員数ともに旧渋川町、金井、伊香保地区で減少
	土地利用	地価	○			他地区よりも旧渋川町の地価下落率が大きい
広域効果要件	土地利用	土地利用規制	○		伊香保	商業地域（用途地域）は旧渋川町と伊香保地区のみ指定がある
		地価	○			旧渋川町の地価は他地区よりも高い
	都市基盤・交通	都市基盤	○			旧渋川町において、土地区画整理事業等の都市基盤整備が重点的に進められいる
		交通	○			旧渋川町は公共交通の重要な結節点であり、広域的な交通手段を有している
	上位計画	総合計画	○			総合計画の将来都市構造で「都市拠点」に位置付けられている

３つの要件をすべて満たすのは旧渋川町のみ　➡　これにより旧渋川町を本市の中心市街地とする

▲へそ祭りなど各種イベントの会場となる新町五差路。彫刻と緑を配置した魅力あふれる市街地として整備された。

いています。

それらの要件を本市の現状にあてはめると、別表のとおりになり、３つの要件すべてを満たすのは、旧渋川町のみとなります。

中心市街地の区域設定

中心市街地としての３つの要件を満たす旧渋川町において、中心市街地の区域を設定するにあたり、次のような視点から考えました。

①多様な都市機能や複合的な魅力を抱える区域

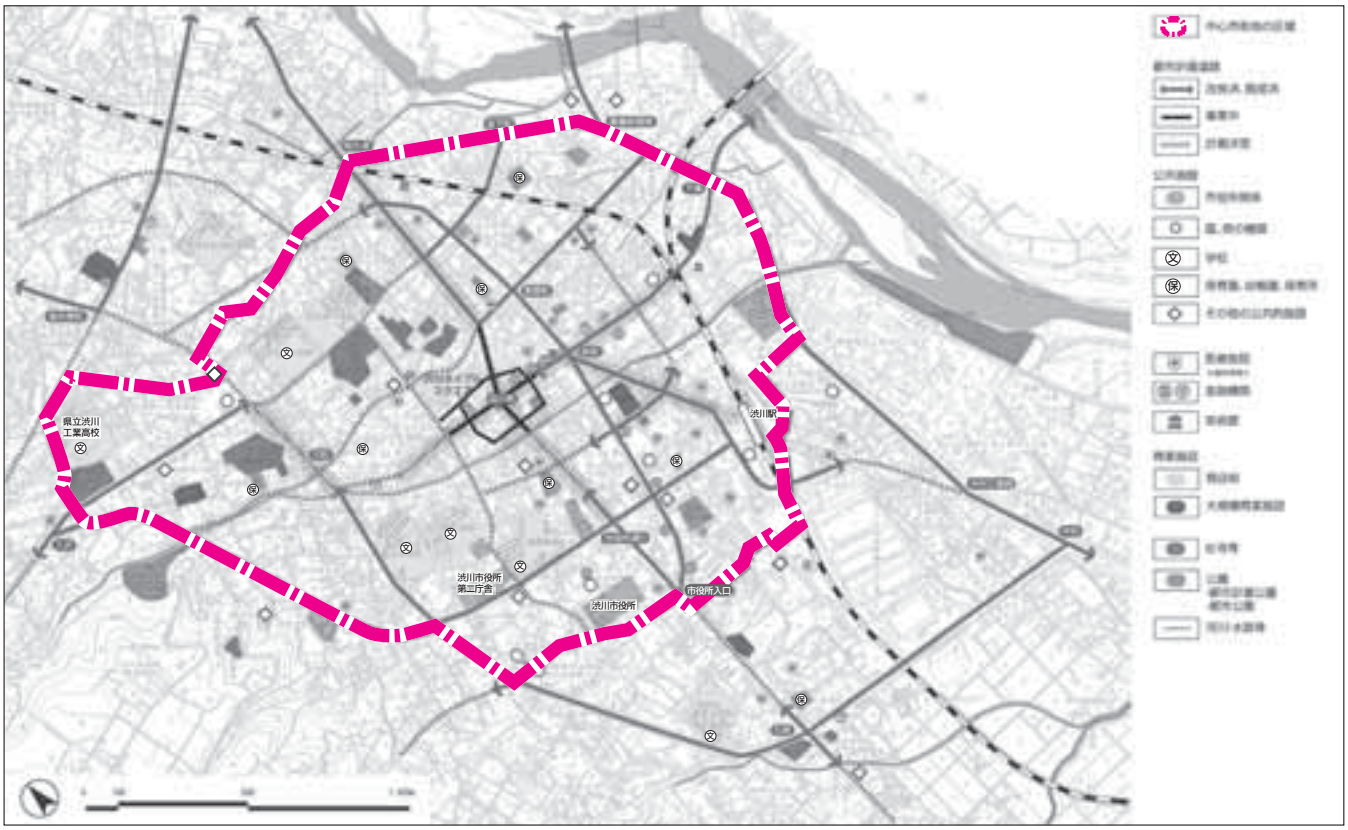
渋川駅から四ツ角周辺に集積する商業施設や市役所、公民館などの公共施設、病院や金融機関などの公益施設、学校、事業所、歴史のある寺社など多様な都市機能と複合的な魅力を抱える区域とする。

②小さくて充実した市街地の形成

本格的な人口減少社会の到来に際し、無秩序に人口が拡散することを防ぎ、一定の範囲への集積を図るため、昭和35年の人口集中地区を区域設定の参考にする。

（別図）

中心市街地の区域



③都市計画事業などとの整合性

都市計画の用途地域において、都市機能の集積と土地の高度利用を誘導する位置付けにある商業地域の指定区域を中心に、土地区画整理事業や都市計画道路の整備予定などについて考慮する。

①～③の視点から、北は商業地域の指定地域の北端（阿久津の信号付近）から渋川工業高校にかけて、南は市役所本庁舎の南西から北東（商業地域の指定地域の南端）にかけて、東は国道17号、西は渋川駅前通り線（入沢の信号付近まで）とし、これらに囲まれた約248ヘクタールの区域を本市の中心市街地とします（別図参照）。

中心市街地を取り巻く状況

1 プラス要素とマイナス要素

中心市街地を取り巻く状況について、統計的な現状分析を行った結果、公共公益施設が集積し、交通の要衝であることなどのプラス要素と、人口減少、高齢化、スーパーマーケットやコンビニエンスストア等生活便利施設の不足などのマイナス要素が浮かび上がってきました。

2 良いところ、良くないところ

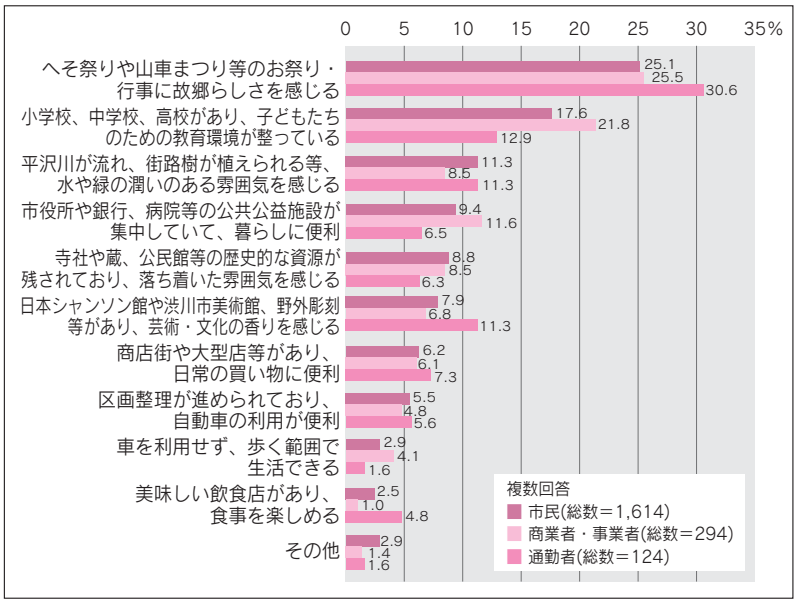
また、昨年度行った「渋川市中心市街地活性化推進基本構想基礎調査」の中で、市民・商業者・通勤者などを対象に実施した、中心市街地に関するアンケート調査の結果によると、「中心市街地の最も良いところは？」という設問で、市民・商業者・通勤者ともに「お祭り行事に故郷らしさを感じる」と「教育環境が整っている」の2項目を良いところとして挙げています。その他に、「水と緑の潤いのある雰囲気」や「公共公益施設が集中していて便利」を挙げる人が多くなっています（別表1参照）。

逆に「中心市街地の最も良くないところは？」という設問では、「空き地、空き店舗等が多く閑散としている」が1位、「行きたい商店や飲食店・特産品等が買える店等が少ない」が2位に挙げられています。その他には、観光施設の不足や交通事情などに不満をもつ人が多くなっています（別表2参照）。

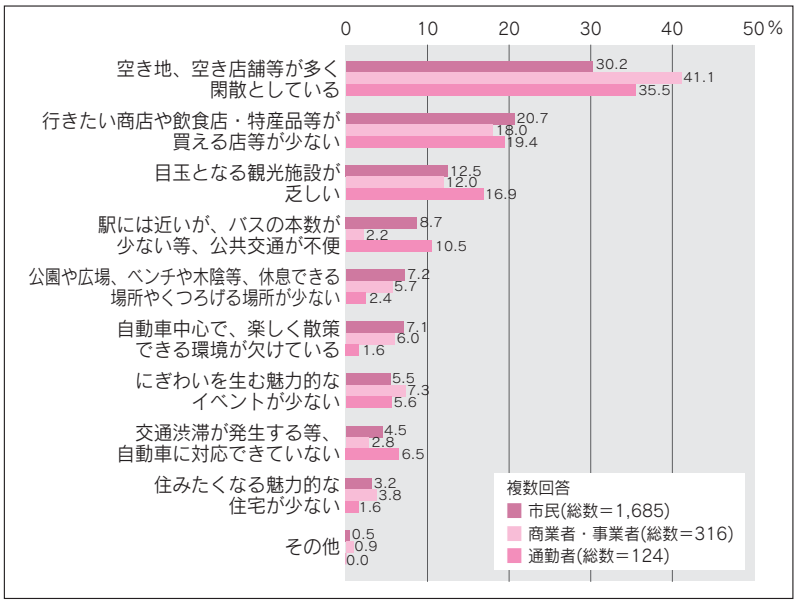
3 市民、商業者が望むまちの姿

中心市街地のあり方を考えるためには、市全体のまち将来像が大切となります。

（別表１）　設問「中心市街地の最も良いところは？」



（別表２）　設問「中心市街地の最も良くないところは？」



その点について、アンケート調査の「渋川市全体としてどのようなまちの将来像がよいですか」との設問に対し、「中心部に核があり周辺と連携」が市民・商業者の１位、「多様な機能が中心部に集積」が商業者・通勤者の１位となっており、市全体にとって中心市街地が必要とされていることが分かります。

■次回の内容は

第３部では、アンケートの結果や現状分析を基に、中心市街地が果たすべき役割と課題についてお知らせします。

この特集についての問い合わせは、商工振興課（☎㉒２５９６）へ。

みんなで考える「まちづくり」

２月15日開催の講演会とパネルディスカッション

中心市街地のまちづくりについてみんなで考えていくため、「しぶかわのまちなかを考えるシンポジウム」を開催します。

このシンポジウムは、講演会とパネルディスカッションの２部構成です。講演会は、窪田亜矢さん（東京大学工学部都市工学科准教授）による「市民参加によるまちづくりの実践」と題した講演を行います。

窪田　亜矢さん

パネルディスカッションでは、本市の中心市街地の現状や課題、現在行っているまちづくりの取り組みや中心市街地の将来的な展望などについて、窪田さんのほか、風見正三（しょうぞう）さん（宮城大学事業構想学部教授）、まちづくりサポーターと市中心市街地活性化プラン策定委員会の代表者に参加してもらい、意見をいただきます。

皆さん、この機会に一緒にまちづくりを考えてみませんか。

とき　２月15日（日）午後１時30分
ところ　中央公民館４階講堂
入場料　無料
申込方法　電話またはファックスで氏名、住所、電話番号、職業を商工振興課（☎㉒2596・FAX㉒2132）へ

もう一度確認してください

より良い環境づくりと安全のために

ごみの出し方はルールどおりですか

最近、ごみの出し方のルールを守らない人が見受けられます。

次のルールを必ず守るとともに、ごみの減量化と資源のリサイクルにご協力をお願いします。

①ごみは、自分の自治会のごみ集積所に出しましょう。

②古紙類、ビン類、金属類などの資源ごみは、自治会・育成会などが行う資源ごみの集団回収へ出しましょう。

③市指定ごみ袋や粗大ごみシールに、自治会名と氏名を書いて出しましょう。

④夜間にごみを集積所へ持ち出すのはやめましょう。

⑤ペットボトルは、ふたを取り除き、中をすすぎ、ラベルははがさないでつぶさずに出しましょう。

⑥家電４品目(テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、エアコン、洗濯機)とパソコンは、ごみとして出せません。家電４品目は、小売店などに、パソコンは製造会社や小売店などに、それぞれ引き取ってもらってください。

※引き取りは有料です。

⑦廃食用油は、市役所本庁舎、第二庁舎、各総合支所に回収コーナーがありますので利用してください。なお、少量を燃えるごみとして出す場合は、紙や布にしみこませるか、固めて袋に入れて出しましょう。

⑧事業所や商店などから出る事業系一般廃棄物は、市では収集しません。各自で直接清掃センターへ搬入するか、一般廃棄物収集運搬許可業者と契約し、引き取ってもらってください。

ごみはごみ収集車が集めます
決められた場所に出しましょう

◇ルール違反が大事故につながることも

一部の人のルール違反を原因とする、ごみ収集車両の火災も発生しています。

次の２点は必ず守ってください。

①使い捨てライターは、使い切ってから出しましょう。

②カセットボンベ、スプレー缶は、使い切ってから、必ず穴をあけて気体を抜いてから出しましょう。

ごみが発火し収集車が火災に
消防隊員が原因を調査

ごみの出し方に関する問い合わせは、環境課(☎㉒2114)へ。

2月11日㈷の水曜日はごみ収集を行います

心の健康づくり講演会２月16日

渋川保健センター(☎㉕1321)

心の疲れに気付き、上手に乗り越えるための要点

市では、市民一人ひとりが、心の健康問題の重要性を認識するとともに、自らの心の不調に気付き、適切に対処する方法を知るための講演会を開催します。

とき　２月16日(月)午後１時30分～３時30分(受付は午後１時～１時30分)

ところ　渋川保健センター(第二庁舎１階)

講師　鈴木庄亮(しょうすけ)さん(ＮＰＯ(エヌピーオー)国際エコヘルス研究会理事長・群馬大学名誉教授)

対象者　市内在住・在勤の人

参加料　無料

参加方法　当日直接会場へ

市水道ビジョンを策定します

水道水を安定供給するための将来構想

2月27日までにビジョンの案に意見を

市では、今年度、「渋川市水道ビジョン」を策定します。

このビジョン（将来構想）は、今後の市の水道行政の在り方や、水道施設の建設計画などを定め、安全で安心なおいしい水を安定して供給するために策定するものです。

昨年６月の「親子水の旅探検ツアー」で長峰浄水場を見学する参加者

今回、このビジョン（案）に対する皆さんからの意見を募集します。

公募意見　「渋川市水道ビジョン（案）」に関する意見

ビジョン（案）の閲覧方法　①水道課（第二庁舎・閉庁日を除く午前８時30分から午後５時15分まで）　②市ホームページ（http://www.city.shibukawa.gunma.jp/）

提出方法　意見を記載した用紙に氏名（団体名）、住所、電話番号を明記して、郵便、ファックス、Eメールまたは直接水道課（〒377－8501・石原80・FAX㉒2167・E-mail water-s@city.shibukawa.gunma.jp）へ

※電話による意見の受付は行いません。

※用紙の様式は問いませんが、水道課で参考様式を配布します。また、市ホームページから印刷もできます。

募集期間　２月２日(月)～27日(金)

※持参の場合は、閉庁日を除く午前８時30分から午後５時15分まで。郵送の場合は、27日の消印有効。

公募結果　提出された意見は、整理・要約し「広報しぶかわ」と市ホームページに掲載します。

※意見以外の個人情報などは公表しません。また、個別には回答しません。

問い合わせ先　水道課（☎㉒2119）

消防団員など約500人が大行進

恒例の市消防出初式

１月４日、渋川広域消防本部前の市道で、市消防出初式が行われました。消防隊（消防団員、消防署員、女性防火クラブ員）が参加し、パレードを行った後、市長による消防隊の観閲、放水試験などが行われました。

（行政課）

行進する女性防火クラブ員

Voice 市民の声

市長への投書「ぱらぼら」

「広報しぶかわ」保存用つづりの配布を

月２回配布される「広報しぶかわ」を保存するのに、つづるものがなく、現在、捨てている状況です。保存するためにつづりを配布してほしいと思います。

市町村合併前には、旧渋川市をはじめ一部の町村で、広報紙を保存するためのつづりを全世帯に配布していました。しかし、当時、作製は無駄だという投書があったことや広報紙の判がA４判のため市販のファイルも利用できることなどから現在は作製していません。しかし、旧渋川市で作製した保存用つづりの在庫があります。希望者には配布しますので、電話で確認のうえ広報情報課（☎㉒2320）へお越しください。

1、800人が参加した『夢二ストーリィ散策』

今回は、シリーズ第13回(8月1日号掲載)で紹介した、「夢二ストーリィ散策」の実施結果をお知らせします。この事業は、伊香保温泉への誘客と長く滞在していただくことを目的に昨年度に引き続いて実施したものです。

伊香保温泉再生に向けた取り組み 19

「夢二ストーリィ散策」への受付を行う参加者

「夢二ストーリィ散策」誘客対策に一役

「夢二ストーリィ散策」は、竹久夢二伊香保記念館、伊香保温泉観光協会など関係団体の協力のもと、今年度は9月1日から11月30日までの3カ月間に渡って実施しました。

参加者数は、実施期間が昨年度よりも2カ月間長かったこともあり、1、370人多い約1、800人でした。参加者アンケート(別表参照)で見ると、参加者は東京近郊からの人が約7割と多く、全体の約6割が女性でした。また、今後につながる結果として、この「夢二ストーリィ散策」に参加するために伊香保に訪れた人が284人もいたことでした。

一方、周知手段として活用したホームページ(http://www.ikaho-haruna.com)にも多くの閲覧者がありました。このホームページには、竹久夢二伊香保記念館の職員が取材をもとに、旬の情報を適時発信するコーナーもあり、このことも好評の理由と思われます。

さらなる誘客に向けて

今回の「夢二ストーリィ散策」は終了しましたが、参加者アンケートでの意見などを参考にしながら、今後も関係団体との連携を強化し、誘客増を図って行きたいと考えています。

詳しくは、まちづくり課伊香保温泉グループ(☎㉒2118)へ。

(別表)「夢二ストーリィ散策」参加者の状況

1 都道府県別

都道府県	人数(人)	割合(%)
東京都	363	20.1
埼玉県	272	15.1
群馬県	219	12.2
神奈川県	179	9.9
千葉県	161	8.9
他	610	33.8
計	1,804	100.0

2 男女別

性別	人数(人)	割合(%)
男	484	26.8
女	1,145	63.5
未回答	175	9.7
計	1,804	100.0

3 世代別

年代	人数(人)	割合(%)
10代	31	1.7
20代	212	11.7
30代	233	12.9
40代	228	12.7
50代	373	20.7
60代	363	20.1
70代	129	7.2
未回答	235	13.0
計	1,804	100.0

4 伊香保に来た目的

目的	人数(人)	割合(%)
観光	1,140	57.4
夢二ストーリィ散策	284	14.2
保養	217	10.9
仕事	63	3.2
デート	20	1.0
山登り	2	0.1
クラス会	1	0.1
未回答	260	13.1
計	1,987	100.0

※複数回答有り。

夢二ストーリィ散策とは

伊香保温泉街を舞台にしたオリジナル小説「夢二のいたずら」(※昨年度は「夏の手紙」)を読み進めながら、まちを散策してもらう企画で、参加者が主人公になったつもりで、伊香保を楽しんでもらうというものです。

中心市街地

まちづくりかわら版　第5回

昨年６月から実施してきた「まちづくりサポーター養成講座」も、終盤を迎えています。１月13日には６回目の講座が開かれ、昨年12月14日に実施した「まちなかトライアルイベント」の反省と今後のまちづくりサポーターのあり方について、意見交換を行いました。

イベントの反省では、まず来場者アンケートの結果を発表。悪天候での実施を残念がる意見があった一方、「雨の中で頑張っているまちづくりサポーターに感動しました」と、企画・準備の苦労が報われるような温かい意見も紹介されました。その後、イベントやチームの活動について「反省を次回につなげていきたい」「継続させていくことが大事」という積極的な意見が次々に出されました。

意見交換の様子

イベントの反省と今後の活動に多様な意見が

また、まちづくりサポーターのあり方については、「まちなか活性化を多くの人に根付かせ、世代や地域を越えてみんなが同じ目標をもてるようにしなくては」「地元、特に商店会にもっと一緒に取り組んでもらいたい」など多様な意見が出され、今後の活動方法について真剣な議論を行いました。

今後も、活性化に向けた活動を進めていきたいと考えています。　（商工振興課）

隔月連載

毎月連載

防ごう地球温暖化　シリーズ第11回

群馬県では、温室効果ガスの排出量を削減するため、平成18年３月に「第２次群馬県地球温暖化対策推進計画（新$CO_2$$CO_2$（コツコツ）プラン）」を策定しました。年々増加傾向にある二酸化炭素の排出量を、平成22年度までに減少傾向にすることを目指しています。

この計画の中で、次のような取り組みを行っていますのでお知らせします。

①ストップ温暖化！県民アクション

地球温暖化を防止するため「ストップ温暖化！県民アクション」と題して、主電源をこまめに切って待機電力を節約することや、エコドライブを実践するなど身近で具体的な行動を10項目にまとめた冊子を作成しました。

温室効果ガス削減に向けた県の取り組み

②地球温暖化防止活動推進員

県知事が委嘱し、市町村と連携して、皆さんへ温暖化防止の普及啓発や情報提供などを行っています。

現在、200人が委嘱されていて、本市では11人が活躍しています。

③県地球温暖化防止活動推進センター

温暖化対策に関する普及啓発を行うなど、本県の温暖化防止活動の拠点として、「ＮＰＯ（エヌピーオー）法人地球温暖化防止ぐんま県民会議」が、県知事の指定を受けてセンターを開設しました。セミナーの開催やＤＶＤ（ディーブイディー）など啓発資材の貸し出しのほか、日常生活における温暖化に関する質問や相談も受けていますので利用してください。

（環境課）

道の駅こもちでコンニャクの荒粉作り
参加者からは「懐かしい」「楽しい」の歓声が

生のコンニャク芋を薄く切り、乾燥させた「荒粉」。この荒粉作りの加工体験が１月７日に道の駅こもちで行われました。市内外から訪れた人からは「懐かしい、子どものころに手伝いでやった」と話す声や、初めてコンニャク芋に触ったという小学生が「意外に簡単で楽しかった」と話すなど、さまざまな声があがっていました。

薄切りの芋を細長い棒で刺して並べます（右）
小学生も楽しく作業に参加（左）

映画の上映と原作者による「人権教育講演会」
本市出身の作家登坂さんが映画への思いを語る

映画「チェスト！」の原作者であり、脚本を手がけた本市出身の登坂恵里香さんを講師に招き、１月16日に市民会館で人権教育講演会が行われました。講演会では、「チェスト！」への思いを交えながら講演を行い、「群馬の子どものために、何ができるか考えながら見ていただければ」と話した後、映画の上映が行われました。

講演を行う登坂恵里香さん（左上）に拍手を送る来場者

新成人が企画運営した「成人式」

晴れ着やスーツ姿の新成人818人が新たな門出

「集え！無限の可能性を秘めた原石タチ」をテーマに、１月11日に市民会館で行われた成人式。この式典は、公募や推薦により選ばれた16人の新成人による成人式運営委員会が企画・運営。会場は、該当者1,006人の内、出席した818人の晴れ着やスーツ姿の新成人で華やいだ雰囲気に包まれていました。

晴れ着姿とあふれる笑顔で華やぐ会場（左）
新成人代表者による「成人の誓い」（右上）
元気いっぱい！（右下）

第３回渋川チャイルドゆめフェスティバル

親子ら2,200人が、演劇などで楽しいひととき

市内の保育所（園）や幼稚園、子育て支援センターなどの活動を紹介するパネル展示と劇団飛行船による演劇が12月20日、市民会館で行われた「渋川チャイルドゆめフェスティバル」。親子ら約2,200人が訪れ、工夫を凝らしたパネルを見たり、かわいいぬいぐるみが登場する演劇を鑑賞したり、楽しいひとときを過ごしました。

保育所（園）、幼稚園などのパネル展示

お知らせ

「渋川広域農産物の再発見と地産地消」研修会

農林課　☎㉒2593

渋川広域で生産されている農産物について、食の魅力と消費に関する講演や試食を通して理解を深めます。

とき　2月17日㈫午後1時30分～4時

ところ　金島ふれあいセンター

内容　▽講演＝地域食材の魅力と消費のあり方　▽その他＝地元農産物の展示と試食

講師　田村善男さん（野菜ソムリエ）

参加料　無料

水道水が灯油臭い

水道課　☎㉒2119

水道課へ寄せられる問い合わせの中に、水道水から灯油臭がするという事例が数件寄せられています。これには、次の原因が想定されますので注意してください。

原因　宅地内に埋設された水道管が、塩化ビニール管やポリエチレン管の場合、灯油タンクからの油漏れなどにより灯油が土中の水道管に浸透し、水道水から灯油臭が発生します。

対策　灯油が浸透した土を取り替え、においが消えるまで水を流してください。場合によっては、原因箇所の水道管や灯油配管の取り替えが必要となります。灯油タンクなどは、水道管と離して設置することをお勧めします。

問い合わせ先　農林課または渋川地区農業指導センター（☎㉓1321）

募集

「水道料金等のお知らせ」に広告を掲載しませんか

水道課　☎㉒2119

市水道事業では、「水道料金等のお知らせ」の裏面に掲載する有料広告を募集します。

広告の掲載を希望する人は、市水道事業広告掲載取扱要綱（以下「要綱」という）および市水道事業「水道料金等のお知らせ」裏面広告募集要領（以下「要領」という）を参照し、申し込みください。なお、要綱と要領は、水道課（第二庁舎）で配布するほか、市ホームページ（http://www.city.shibukawa.gunma.jp/）で見ることができます。

応募資格　要綱に定める取扱基準にあてはまり、本市の市税や水道料金、下水道使用料などの滞納がない個人または法人

掲載規格　「水道料金等のお知らせ」裏面全面（縦18㌢×横6㌢）・2色刷

掲載期間　6月検針分～平成22年3月検針分

募集枠数　1枠

掲載料金　期間額10万5、000円（税込）

決定方法　要綱などにより審査し、公共性、公益性などが高いものを優先します

※審査により広告デザインの修正をしてもらうことがあります。

申込方法　水道事業広告掲載申込書（水道課にあります。また、市ホームページから印刷することもできます）に広告デザイン原稿（案）を添えて、水道課管理グループへ

※広告の原稿作成にかかる費用は、申込者の負担とします。

募集期限　2月27日㈮（必着）

「広報しぶかわ」掲載の有料広告募集

問い合わせ先　広報情報課（☎㉒2320）

毎月1日、15日の2回、3万1,300部を作成し、毎戸に配布している本市の広報紙「広報しぶかわ」に掲載する有料広告を募集します。

規格　▷区画A＝縦4.9㎝×横8.7㎝　▷区画B＝縦4.9㎝×横17.7㎝

掲載位置・規格　広報紙中面の最下段（13ページの広告掲載場所を参照）

掲載期間　広報紙の各号1回（ただし、複数回の掲載も可）

掲載料（1回）　▷区画A＝1万5,000円　▷区画B＝3万円（区画Aの2つ分）

申込方法　「渋川市広報紙広告掲載取扱要綱」（広報情報課にあります）を確認のうえ、申請書を広報情報課へ提出

※市広報紙広告掲載取扱要綱と申請書は、市ホームページから印刷できます。

申込期限　掲載を希望する広報紙の号の発行40日前

□伊香保総合支所 ☎72-3155　□赤城総合支所 ☎56-2211
□小野上総合支所 ☎59-2111　□北橘総合支所 ☎52-2111
□子持総合支所 ☎24-1211

さいたまの古墳と中世館を巡るバスツアー

文化財保護課 ☎㊷2102

埼玉県内の古墳や史跡を巡ります。

とき 3月1日(日)午前8時出発(午後5時帰着予定)
集合場所 北橘歴史資料館
交通手段 市マイクロバス
コース さきたま風土記の丘(さきたま古墳公園内)・大蔵館跡(伝・木曽義仲誕生の地)・埼玉県立嵐山史跡の博物館(戦国時代の館跡)
案内人 文化財保護課職員
定員 28人(先着順)
参加料 200円(観覧料・当日集めます)
※昼食は、各自持参してください(食堂利用可)。
申込方法 電話か直接北橘歴史資料館(☎㊷4094)へ
申込期間 2月7日(土)～15日(日)(月曜日は休館)

ペルシャ家庭料理教室

市国際交流協会事務局(企画課内) ☎㉒2396

市国際交流協会では、各国で育まれてきた家庭料理の実習を通して、その国の文化を理解するため料理教室を開催します。

とき 2月28日(土)午前9時30分～午後1時30分
※昼食時に試食します。
ところ 中央公民館
内容 シャ・キャム・パレ(ナスとひき肉の料理)、スーペジョ(麦スープ)、フィルニー(白玉粉プリン)の3品を予定
講師 田村アザムさん(高崎市)
定員 15人(先着順)
参加料 800円(材料費・当日集めます)
持参するもの エプロン
申込方法 電話で市国際交流協会事務局へ
申込期間 2月5日(木)～19日(木)(閉庁日を除く)

スポーツ

市民家庭スポーツの日

体育課 ☎㉒2104

毎月第2日曜日は、市民家庭スポーツの日です。気軽にスポーツが楽しめるよう体育指導委員が、利用者の要望により指導します。

とき 2月8日(日)午前10時～午後3時
ところ 市民体育館

市民スキー教室

体育課 ☎㉒2104

とき 3月7日(土)午前6時30分集合
集合場所 市役所本庁舎駐車場
交通手段 大型バス
ところ 湯沢中里スキー場(新潟県湯沢町)
講師 市体育協会スキー部の皆さん
対象者 市内在住・在勤の小学生以上の人(小学生は保護者同伴)
定員 40人(先着順)
参加料 ▽小・中学生＝2,000円 ▽高校生以上＝2,500円(バス代、保険料)
※昼食、リフト券、スキーレンタル料は参加者負担。
申込方法 電話で体育課へ
申込期限 2月20日(金)

広告掲載場所(区画A)
単色(黒)刷り
0.2㎜の線で囲った範囲内
4.9㎝
8.7㎝

広告掲載場所(区画A)
単色(黒)刷り
0.2㎜の線で囲った範囲内
4.9㎝
8.7㎝

17.7㎝(区画B)

福祉

聴覚障害者の教養講座

社会福祉課　☎㉒2115　FAX㉒2327

とき　2月28日㈯午後7時～9時

ところ　渋川ほっとプラザ（旧渋川保健福祉センター）4階大会議室

内容　日ごろの運動不足を解消するために太極拳（たいきょくけん）を体験します

講師　上村（かみむら）仁さん（有馬）

対象者　市内在住で中学生以上の聴覚に障害のある人、一般市民

参加料　無料

持参するもの　運動のできる服装

申込・問い合わせ先　電話で社会福祉課またはファックスで住所、氏名、年齢を明記し、市聴覚障害者福祉協会長小林秀男さん宅（FAX㉔0492）へ

渋川老人福祉センターからのお知らせ

渋川老人福祉センター　☎㉓1765

〈ふれあい浴場〉

とき　2月22日㈰

内容　渋川老人福祉センター内浴場の無料開放（市民のみ）

〈無料巡回バスの運行〉

とき　毎週日曜日

コース　午前9時15分金島駅発、9時50分スカイテルメ渋川、10時15分渋川老人福祉センター着。帰りは午後2時センター発

〈健康相談〉

とき　2月5日㈭午後1時30分

ところ　渋川老人福祉センター

医師　塚越秀男さん（渋川／御蔭）

〈3月の休館日〉

2日㈪、9日㈪、16日㈪、21日㈯、23日㈪、30日㈪

「広報しぶかわ」ホームページに掲載

広報情報課　☎㉒2320

今号から、「広報しぶかわ」が市のホームページ（http://www.city.shibukawa.gunma.jp/）で見ることができるようになりました。

今後は、毎号発行後、ホームページに掲載しますので、利用してください。

公民館

渋川公民館まつり

渋川公民館　☎㉒0999

渋川公民館地区の皆さんや定期利用団体の作品展と演技発表会などを行います。渋川公民館が第二庁舎に移転後初の公民館まつりです。皆さん誘い合わせてお越しください。

とき　▽作品展示＝2月26日㈭～3月1日㈰午前9時～午後4時（3月1日㈰は午後3時30分まで）▽演技発表会・お茶会＝3月1日㈰午前11時～午後3時30分

ところ　渋川公民館（第二庁舎）

入場料　無料

キッズ★ひな祭りクッキング

渋川公民館　☎㉒0999

とき　2月22日㈰午前9時30分～正午

ところ　渋川公民館（第二庁舎）

内容　大人数で食べる彩り豊かな、ちらしずしを作ります

講師　服部信子さん（有馬）

対象者　小学生

定員　15人（先着順）

参加料　300円（材料費）

持参するもの　エプロン、三角きん、ふきん、タオル

申込方法　電話か窓口へ（参加料は2月18日㈬までに窓口へ）

申込開始日　2月9日㈪午前8時30分

お雛（ひな）さまのリース作り

渋川東部公民館☎㉒4321

造花で飾られた完成品

とき　2月17日㈫午前10時～正午

ところ　渋川東部公民館（中央公民館内）

内容　桃の枝を使ってリース（輪飾り）を作り、桃の花（造花）などを飾り付けます

講師　荒牧真理さん（富士見村）

対象者　20歳以上の女性

定員　20人（先着順）

□伊香保総合支所 ☎72-3155　□赤城総合支所 ☎56-2211
□小野上総合支所 ☎59-2111　□北橘総合支所 ☎52-2111
□子持総合支所 ☎24-1211

参加料　1、500円（材料費）
申込方法　電話か窓口へ（参加料は2月13日㈮までに窓口へ）
申込開始日　2月6日㈮午前8時30分

ステンドグラスの「ミニランプ」

渋川東部公民館☎㉒4321
とき　2月23日㈪午後1時30分～3時30分
ところ　渋川東部公民館（中央公民館内）
内容　コンセントがあればどこでも使える、可愛い足元灯を作ります
講師　舛田（ますだ）弘彦さん（高崎市）
定員　12人（先着順）
参加料　3、500円（材料費）
持参するもの　エプロン、軍手

かわいらしいミニランプです

申込方法　電話か窓口へ（参加料は2月19日㈭までに窓口へ）
申込開始日　2月10日㈫午前8時30分

図書館

資料貸出休止のお知らせ

市立図書館　☎㉒0644
市立図書館では、2月16日㈪から3月2日㈪までの15日間、図書館電算化システム入れ替えのため、図書および視聴覚資料の貸し出しを休止します。
学習室・参考図書室の利用、図書・新聞・雑誌の閲覧、インターネットおよび視聴覚機器の利用は平常どおりできます。
利用者の皆さんには大変ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

子ども映画会

市立図書館　☎㉒0644
とき　2月14日㈯午後2時
ところ　2階視聴覚室
内容　「ごきげんなライオン」「ミミちゃんのてとてとて」
入場料　無料

萌えの子おはなし会

市立図書館　☎㉒0644
とき　2月7日㈯午後2時
ところ　1階こども文庫
内容　▽絵本＝「白いカラス」「ことりのうち」▽紙芝居＝「りゅうの目のなみだ」
入場料　無料

映画鑑賞会

市立図書館　☎㉒0644
とき　2月15日㈰午後2時
ところ　2階視聴覚室
内容　「私の頭の中の消しゴム」（監督：イ・ジェハン／主演：チョン・ウソン／2004年・韓国映画）
入場料　無料

募集

渋川地区高等職業訓練校訓練生

●**訓練科・訓練期間** ▽木造建築科、左官・タイル施工科、建築板金科＝3年間 ▽配管科、とび科、鉄筋コンクリート施工科、型枠コース＝2年間 ●**訓練日数** 週1日～2日 ●**対象者** 事業所に勤務している人 ●**授業料（月額）** ▽3年間コース＝7、200円 ▽2年間コース＝8、800円 ●**申込期限** 3月6日㈮ ●**問い合わせ先** 渋川地区高等職業訓練校（☎㊹5177）

相談

介護職等をめざす人の就職相談会

●**とき・ところ** ▽2月8日㈰＝高崎・地域医療センター（高崎市高松町） ▽2月15日㈰＝県社会福祉総合センター（前橋市新前橋町） ※時間は各日とも午後1時～4時30分。 ●**内容** 介護職に就きたい人・仕事内容を知りたい人に対する個別相談、県福祉マンパワーセンター職員による就職相談 ●**費用** 無料 ●**申込方法** 当日直接会場へ ●**問い合わせ先** 県介護高齢課（☎027－226－2576）

相談

心に悩みをもつ人の家族相談会

●**とき** 2月18日㈬午前10時～午後3時 ●**ところ** 市民会館会議室 ●**内容** 保健・医療・福祉の相談、家族の対応の仕方・社会復帰の相談など ●**対象者** 精神障害者の家族または関係者 ●**費用** 無料 ●**申込方法** 当日直接会場へ ●**問い合わせ先** 県精神障害者家族会連合会（☎027－263－1166）

入札

県有地の売却

●**売却物件** 渋川（上郷）2689－1・宅地378・79平方メートル ●**売却方法** 一般競争入札 ●**入札日** 3月19日㈭ ●**入札参加資格** 問い合わせてください ●**申込書配布場所** 県管財課、渋川行政事務所・土木事務所（金井）、市役所市民課前 ●**申込期限** 2月27日㈮ ●**申込・問い合わせ先** 県管財課（☎027－226－2112）

講座

第12期砂防公開講座

●**とき** 2月24日㈫午後1時30分～4時（午後1時開場） ●**ところ** 市民会館小ホール ●**内容** 防災について考えるための「防災講座」 ●**定員** 100人（先着順） ●**参加料** 無料 ●**申込方法** 氏名、電話番号を電話またはEメールで、国土交通省利根川水系砂防事務所（☎㉒4177・E-mail tonesabo@ktr.mlit.go.jp）へ

案内

シニア就業支援センター

●**開所日** 月～金曜日午前9時～午後5時30分（祝日を除く） ●**内容** 再就職相談、求人・起業などの情報提供 ●**対象者** 中高年齢者（おおむね35歳以上） ●**申込方法** 電話でシニア就業支援センター（県社会福祉総合センター内・前橋市新前橋町・☎027－255－2300）へ

2日間の「新入社員研修会」 申し込みは3月3日まで

●**とき** 3月17日（火）、18日（水）午前9時～午後4時 ●**ところ** 勤労福祉センター ●**内容** ▷17日＝開講式、講義（職場の人間関係、上手な電話のかけ方） ▷18日＝講義（コミュニケーションのこつ、消費者トラブル対策、新社会人の健康管理、職場における労働法）、研修のまとめ、閉講式 ●**対象者** 新入社員（予定者含む） ●**定員** 60人（先着順） ●**参加料** ▷会員事業所＝1人2,000円 ▷非会員事業所＝1人4,000円（資料代、昼食代） ●**申込期限** 3月3日（火） ●**申込・問い合わせ先** 渋川商工会議所（☎㉕1311）へ

健康の道しるべ

健診結果を生活に生かそう

健康管理課

●積極的に保健指導を

今年度から始まった特定健診は、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の解消や生活習慣病予防に生かしてもらうための健診です。健診後の保健指導では、メタボリックシンドロームを撃退し生活習慣病を予防するために、自分の生活習慣を見直し、改善するための支援が受けられます。

特定健診の結果と一緒に、説明会や保健指導のお知らせが届いた人は、積極的に参加し、生き生きとした生活のために十分活用しましょう。

●皆さんの成果報告

保健指導により、減量に取り組んだ2人の事例を紹介します。

A（エー）雄さん（58歳・自営業）

毎日の晩酌とつまみが楽しみで、食事は大食・早食い。6カ月後の目標は体重8キログラム減量。これならできそうと選んだ方法は、週1回の休肝日と晩酌のつまみを野菜中心にし、一口20回かんで一口ごとに、はしを置く方法でした。保健師や栄養士の継続支援により、できることから始めたことと妻との二人三脚でできたことが、成果をあげられた理由でした。

B（ビー）子さん（48歳・パート）

1年で体重が8キログラム増加。コレステロール値が高いことから、保健師の指導により、減量を開始しました。結果は、運動と食事により6カ月で5キログラムの減量に成功。その方法として、簡単にできることから始めました。それは、1日1回だった犬の散歩を朝夕の2回にしたこと、3杯のコーヒー（ミルクと砂糖入）を1杯に減らしたことでした。このほかに、野菜をたくさん食べるなど、食事にも気をつけながら行ったことにより、成果をあげることができました。

●保健師・栄養士が応援します

保健指導には、個人を対象に行う特定保健指導のほか、教室形式で行う指導として、運動習慣を身につけるための「ヘルスアップ教室」や「健康いきいき教室」、食生活改善推進員が担当する「健康料理教室」などがあります。

生活習慣病の予防に向けて、あなたもスタートラインに立ってみませんか。まずは、渋川保健センター（☎㉕1321）へ連絡してください。相談や家庭訪問など、要望に応じて保健師、管理栄養士が応援します。

―生活習慣病予防の合い言葉―

「1に運動　2に食事　しっかり禁煙　最後にクスリ」

やすらぎの広場

Relaxation Square

美術作品紹介

絵画にみる故郷の山　vol.10

地面に雪の残るみなかみ町上牧（かみもく）のひなびた風景、その背後には、上越国境の山並みが迫っています。人を寄せ付けない厳しさが感じられる白銀の谷川岳は、その特徴であるトマ・オキの二つ耳（二つの頂上の意）もしっかりと描かれています。

作者は本市出身の洋画家、群馬大学の教授として多くの美術教師を育成しました。作品は、市役所本庁舎２階第２応接会議室に展示されています。

「谷川岳の見える上牧風景」

作者：狩野守（かのうまもる）

油彩　53cm×73cm

しぶかわ フォト

このコーナーでは、皆さんが撮影した季節感のある風景や催し物などの写真（特定の人物を中心にしているものは除く）を掲載します。写真１枚にタイトルと撮影場所、撮影日、住所、氏名、電話番号を明記して広報情報課（〒377-8501・石原80・Eメール kouhou@city.shibukawa.gunma.jp）へ。

【あじさい街道】

撮影場所：北橘町小室
撮影日：平成20年６月24日
撮影者：今井勉さん（北橘町小室）

表紙の写真　コスモス保育園の年長園児たちの竹馬乗り。昨年11月から乗り始め、今では、走ったり止まったりと、楽しく元気に竹馬に乗っています。これからも、いっぱい竹馬に乗って、３月の卒園式で、その成果をみんなに披露します。

うぶごえ（12月生まれ）
男の子　30人
女の子　30人

広報しぶかわ　〒377-8501　群馬県渋川市石原80
平成21年２月１日発行　通巻71号　TEL 22-2111　FAX 24-6541
市ホームページアドレス　http://www.city.shibukawa.gunma.jp/
印刷／朝日印刷工業株式会社